

部門責任者 【院長】 榊原 敬 【副院長】 廣畑 敦 【院長補佐】 近沢 元太

診療部門	診療部門長	近 沢 元 太 廣 畑 敦
薬剤部門	薬 局 長	奥 村 佳 史
看護部門	総 看 護 師 長	本 田 幸 子
	副 総 看 護 師 長	奥 田 か お る 門 田 啓
	外 来	吉 沢 祐 子
	救急外来・カテーテル室	高 松 幸 子
	3 階 病 棟	小 林 雅 子
	6 階 東 病 棟	妹 尾 久 美 子
	6 階 西 病 棟	高 砂 紀 子
	7 階 東 病 棟	松 田 美 佐 子
	7 階 西 病 棟	難 波 由 紀 子
	集 中 治 療 室	野 上 晋 作
	H C U ・ 透 析 室	岩 知 道 慶 子

輸 血 部 門	輸 血 部 長	岸 本 諭
診療支援部門	診療支援部長	平 岡 有 努
事務部門	事 務 長	室 山 英 輝
医療安全部門	医 療 安 全 部 長	川 元 隆 弘
教育指導部	教 育 部 長	難 波 宏 文
集中治療部	集 中 治 療 部 長	近 沢 元 太

外来 受付時間	〔月曜～金曜日〕 0 8 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0 〔第2・4土曜〕※予約制 0 8 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
休診日	第1・3・5土曜、日曜、祝日

【従事医師】	【理事長】 榊原 敬	【院長】 榊原 敬	
心臓血管外科	近沢 元太	・ 平岡 有努	・ 都津川 敏範
	岸本 諭	・ 吉鷹 秀範	・ 津島 義正
	吉岡 祐希	・ 高田 善章	・ 昼八 史也
	濱田 悠輔	・ 山寄 肇	・ 吉田 圭佑
循環器内科	渡邊 冴基	・ 坂口 太一	
	廣畑 敦	・ 川元 隆弘	・ 武 寛
	伴場 主一	・ 吉田 俊伸	・ 喜多 利正
	赤木 禎治	・ 難波 宏文	・ 吉田 清
	橘 元見	・ 中務 智文	・ 森川 喬生
	梶山 渉太	・ 金沢 夏希	・ 木村 晃久
	佐藤 貴昭	・ 滋野 稜	・ 重松 達哉
	竹内 幹人	・ 橋本 幹史	・ 長谷川 文哉
	藤村 祐斗	・ 守家 聖二	・ 與田 俊介
	松下 健太郎	・ 矢野 慎弥	・ 今井 斎博
	林田 晃寛	・ 正岡 佳子	・ 松本 健佑

【従事医師】	
糖尿病内科	清水 一紀 ・ 能美 幸信
消化器内科	玉木 孝彦 ・ 塩谷 昭子 ・ 葉 祥元 佐々木 洸太 ・ 山田 学
人工透析内科	清水 明德 ・ 河本 浩子 ・ 進藤 稔弘
眼 科	森田 哲郎 ・ 田中 瑛三
形成外科	濱中 孝臣
放射線科	津野田 雅敏 ・ 小林 誠 ・ 川田 まりあ
麻酔科	大西 佳彦（標榜医） ・ 石井 智子（標榜医）
	加藤 麟太郎（標榜医） ・ 津島 義正（標榜医）
	難波 宏文（標榜医） ・ 加藤 友梨（標榜医）
	小島 丈夫（標榜医） ・ 鈴木 眞子

【従事医師】 リハビリテーション科	喜多 利正 ・ 吉田 俊伸 ・ 濱中 孝臣 清水 一紀
脳神経外科	佐能 昭 ・ 浮田 直也 ・ 知念 将志 永瀬 喬之
脳神経内科・ もの忘れ外来	河原 由子
脳卒中科	井上 剛
呼吸器内科	肥後 寿夫
救 急	津島 義正

厚生労働大臣の定める施設基準に適合している手術の年間症例数

手 術 の 種 別	症 例 数
冠動脈、大動脈バイパス移植術および体外循環を要する手術	4 0 8 例
ペースメーカー移植術および交換術※両心室ペースメーカー移植及び交換術を含む	2 2 8 例
経皮的冠動脈形成術	
○急性心筋梗塞に対するもの	1 2 例
○不安定狭心症に対するもの	2 3 例
○その他のもの	7 3 例
経皮的ステント留置術	
○急性心筋梗塞に対するもの	1 3 3 例
○不安定狭心症に対するもの	1 1 5 例
○その他のもの	7 5 9 例
経皮的冠動脈粥腫切除術	1 例
経皮的カテーテル心筋焼灼術	4 4 6 例
腹腔鏡下胆嚢摘出術	0 例
胸腔鏡下肺切除術	0 例
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	0 例
腹腔鏡下肝切除術	0 例

2024年1月1日～2024年12月31日

医療従事者の負担軽減及び処遇改善

2025年4月1日

当院では下記の項目等について取組みを行っております

処遇改善

●予定手術前日は当直及び待機勤務をさせない体制●連続当直での勤務を計画しないよう配慮●当直翌日の業務軽減および休息確保（当直翌日の午後は休日）●交代勤務制の導入を検討する、複数主治医制（主治医・担当医師制：ミット制）を実施●院内保育園の充実●産休・育休制度の充実●子育て中の医師について、小学校就学前まで勤務時間短縮制度の導入

地域の医療機関との連携 外来縮小の取組み

●病診連携を進め、病客にかかりつけ医を持っていただき、当院の役割は入院・外来（紹介・重症・定期検査）とし、外来の縮小を図る

多職種による業務分担および支援 看護業務

●看護師による静脈採血・注射の実施●入退院調整業務の実施●オンコール体制による夜間緊急手術、緊急カテーテル、緊急透析への対応

多職種による業務分担および支援 薬剤管理

●入院病客の持参薬の確認、管理●当直体制による夜間調剤および問い合わせへの対応●病客の服薬指導●新規採用薬情報、添付文書改定情報、副作用情報等の医薬品の情報収集と医師への情報提供●検査・処置による休薬確認●疑義照会の簡略化●薬剤の適性使用に関わる検査オーダー代行入力●禁忌病名・禁忌薬登録代行入力●予定胸部手術病客への薬剤管理介入

多職種による業務分担および支援 医療機器管理

●医療機器の効率的な中央管理●心臓外科手術、人工透析、心臓カテーテル検査等における機器の操作・管理等●当直体制による夜間緊急手術、緊急カテーテル、緊急透析への対応

多職種による業務分担および支援 検査業務

臨床検査技師によるエコー検査の実施

多職種による業務分担および支援 事務業務

●診断書、主治医意見書等の記載の補助●診療情報提供書の記載の補助●医師の指示による検査オーダー及び次回予約の決定●医師の指示による病名入力●デバイス別のデータ入力●初診時の予診の実施●入院の説明の実施●検査手順の説明の実施

多職種による業務分担および支援 その他

●糖尿病チームにおける診療支援●ICT（感染症対策チーム）による診療支援●AST（抗菌薬適正使用支援チーム）による診療支援●NST（栄養サポートチーム）による診療支援●入退院支援センターにおける診療支援●心不全チームによる診療支援●D-CASTによる診療支援●診療看護師による診療支援●呼吸器チームによる診療支援

看護職員の負担軽減計画

2025年4月1日

当院では下記の項目等について取組みを行っております。

処遇改善

- 深夜勤、準夜勤以外に遅出勤務や早出勤務の導入
- 夜勤時間の負担の平均化
- 業務改善
- 時間外業務の削減を行うためのスタッフへ指導
- 負担軽減に繋がる制度の利用
- 適正な時間外勤務についての申請推進
- ライフ・スタイルに応じた勤務時間、経験に応じた勤務内容の設定
- リフレッシュ休暇（連続5日～7日）の導入
- 寮の利用促進

看護師の確保、定着促進

- 新入職者の確保（募集活動、DVDによる病院や看護部紹介、就職説明会・インターンシップの充実、臨地実習内容の充実など）
- 採用機会の拡充（採用試験の実施回数を増やす）
- 学生対象の手術室、ICU、HCUなどのユニット見学
- 現任教育プログラムの見直し
- 教育担当者を中心とした心身面のケア
- 継続教育ラダー研修プログラムを見直し
- 定年後の継続雇用及び業務内容の機能別縮小

妊娠・子育て中・介護中の配慮

- 夜勤の減免
- 休日勤務の配慮
- 半日・時間単位休暇
- 他部署への配置転換
- 産休・育休制度を整備

- 院内保育園の利用促進
- 子育て中の看護師について、小学校入学まで勤務時間短縮制度の導入

多職種による業務分担および支援

- 薬剤師による配薬管理、薬品管理、入院病客の持参薬の確認・管理
- 臨床検査技師による採血
- 臨床工学技士による医療機器の効率的な中央管理
- 臨床工学技士による手術直接介助の協力
- 臨床工学技士による手術・カテの間接介助の協力
- リハビリ職種（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）によるリハビリテーション
- 介護士による入院病客の日常生活支援
- 介護士の夜勤勤務の導入
- 看護補助者によるADL介助
- 事務員による外来における診療介助・予約センターでの入院、検査手続き・説明等の事務業務
- 病棟事務を配置し、病棟での事務業務
- NST（栄養サポートチーム）による診療および看護支援
- ICT（感染対策チーム）による診療および看護支援
- 褥瘡対策チームによる診療および看護支援
- D-CASTチームによる診療および看護支援
- 入退院支援センターによる入退院調整

その他

- クリティカルパス運用
- 業務連絡先の周知による院内電話対応業務の軽減

初診時・再診時選定療養費改定

2022年4月1日

R4年度（2022年）の診療報酬改定に伴い、当院では初診時に**紹介状（診療情報提供書）をお持ちでない方**を対象に『保険外費用療養費（選定療養費）』として、7,000円（再診3,000円）をご負担いただきますことご了承ください ※全て税込

『逆紹介』のお願い

厚生労働省の指針により、外来通院はかかりつけ医が担い、当院では入院・救急と定期検査を担当し、ご退院後の治療はかかりつけ医にお願いする『逆紹介』をしています ご理解お願い申し上げます

次のような方は初診とさせていただきます

1. 当院を初めて受診される方
2. 前回の診療で治癒、又はそれに近い状態であって、今回の受診が医学的に初診となる方
3. 当院から『かかりつけ医』に紹介の後、6ヶ月以上受診のない方
4. 医師の指示に対し自己中断された後に再度受診される方

次のような方は選定療養費をいただきません

1. 他院から紹介状（診療情報提供書）をお持ちの方（人間ドックや健康診断等の結果通知類を除く）
2. 緊急の場合（救急車での搬送など）
3. 生活保護法の医療扶助の対象となっている方
4. 特定の疾病や障害等で各種公費負担を受給されている方
5. 治験協力者である方、災害により被害を受けた方
6. 労働災害、公務災害、交通事故、自費診療の方

初診時・再診時選定療養費改定

2022年4月1日

R4年度（2022年）の診療報酬改定に伴い、当院では初診時に**紹介状（診療情報提供書）をお持ちでない方**を対象に『保険外費用療養費（選定療養費）』として、7,000円（再診3,000円）をご負担いただきますことご了承ください ※全て税込

『逆紹介』のお願い

厚生労働省の指針により、外来通院はかかりつけ医が担い、当院では入院・救急と定期検査を担当し、ご退院後の治療はかかりつけ医にお願いする『逆紹介』をしています ご理解お願い申し上げます

次のような方は初診とさせていただきます

1. 当院を初めて受診される方
2. 前回の診療で治癒、又はそれに近い状態であって、今回の受診が医学的に初診となる方
3. 当院から『かかりつけ医』に紹介の後、6ヶ月以上受診のない方
4. 医師の指示に対し自己中断された後に再度受診される方

次のような方は選定療養費をいたしません

1. 他院から紹介状（診療情報提供書）をお持ちの方（人間ドックや健康診断等の結果通知類を除く）
2. 緊急の場合（救急車での搬送など）
3. 生活保護法の医療扶助の対象となっている方
4. 特定の疾病や障害等で各種公費負担を受給されている方
5. 治験協力者である方、災害により被害を受けた方
6. 労働災害、公務災害、交通事故、自費診療の方

『診療明細書』の発行

当院では、領収証発行と同時に、診療費の項目がわかる明細書を発行しております

また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても明細書を無料で発行いたします

明細書には処方した薬品名や検査名など個人情報が入りますので、明細書の不要な方は会計にお申し出ください

なお、再発行はいたしかねますので了承ください

『後発医薬品・バイオ後続品』の推進

当院では、厚生労働省の方針に従って、後発医薬品やバイオ後続品の使用に積極的に取り組んでいます
医薬品の供給状況により、処方内容が変更となる可能性があります その際には十分説明させていただきますので、ご協力をお願いいたします

『長期収載品』の選定療養

長期収載品とは、一般的に同じ効能効率の後発医薬品（ジェネリック）が流通している先発医薬品のことをいいます

後発医薬品が選択可能な状況で、病客さまのご希望により長期収載品を処方となった場合は差額の一部をご負担いただきます

当院の入院費は『包括払い方式』

『包括払い方式』とは

手術の有無、合併する病気の有無等によって病気を分類し、その分類ごとに1日あたりの医療費が決められる方式のことをいいます

ご不明な点は入院担当にご相談ください

当院の医療機能係数／1.4136

内訳（基礎係数：1.0451 機能評価係数Ⅰ：0.2866 機能評価係数Ⅱ：0.0664） 救急補正係数：0.0155

2025年9月

同じ病気で入院期間が180日を超えた場合

健康保険法の規定により、入院料の一部（15％）を実費負担していただきます

実費負担額

1日あたり（税込）	7対1入院基本料	2 7 8 5 円
	特定入院基本料	1 0 1 0 円

なお、厚生労働省が定める状態にある場合は除外いたします

入院中の食事

当院は厚生労働大臣が定める入院時食事療養（Ⅰ）の届出を行っており、管理栄養士により管理された食事を適時（夕食は午後6時以降）適温（温冷配膳カート）で提供しています

原材料は国産品を使用し、折々の行事食も提供しています

敷地内禁煙のご案内

岡山県より禁煙実施施設認定を受けています
病院の敷地内はもちろん、
周辺道路での喫煙はご遠慮ください

病院内撮影禁止のご案内

病院内でのビデオカメラ等による
撮影はご遠慮ください
ご協力よろしくお願い申し上げます

禁煙外来 月曜／午後

受診ご希望の方は、
清水明德医師の外来に
おいでください

『院内感染防止対策』

感染制御チームを結成 他院と連携して評価や情報共有
を図り、地域全体で感染防止に取り組んでいます

感染制御チーム

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師